

1 章 取扱説明

お客様へ

- ◆このたびは『元気風呂』をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、入浴と同時に微弱で心地よい電氣的刺激をお楽しみいただくものです。
- ◆この製品を正しく使用していただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは本機を操作される方が、いつでも見られる所に保管してください。

目 次

	ページ
1 章 取扱説明	
● 安全上のご注意 (取扱関係)	4・5
● パネル面の説明	6
● 操作方法	7
● 点検・お手入れ	8
● 故障とお考えになる前に	8
2 章 施工説明	
● 安全上のご注意 (施工関係)	10・11
● 各部の名称	12・13
● 本体の接続	14・15
● 配線方法	16～19
● 電極板の取付け	20
● 注意書看板の取付け	21
● 完了検査	22
● 仕 様	23

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、および施工説明書への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用・ご利用になる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

◆ 表示内容を見逃して、誤った施工や取扱いをしたときにおよぼす

危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	施工や取扱いを誤った場合、使用者や利用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 警告	施工や取扱いを誤った場合、使用者や利用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	施工や取扱いを誤った場合、使用者や利用者が損害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

◆ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています

 注意	このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
 禁止	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
 必ず行う	このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

本体を操作される前に必ずお読みください

危 険



必ず行う

- 出力電圧を上昇させる時（出力調節つまみを時計回りにまわすとき）は、パルスマッサージバスの浴槽内に入浴者がいないことを確認してください。
 - ・ 入浴者がいる時に出力電圧を上昇させると、入浴者に強いショックをあたえることがあります。
- 出力電圧は、適度な強さに調節してご使用ください。
 - ・ 出力が強すぎると、事故の原因になることがあります。

警 告



必ず行う

- 雷が発生したときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ・ 感電、故障の原因になります。
- 万一 本体から煙が出る、異音・異臭がする、などの異常を感じたときは、直ちにコンセントから電源プラグを抜いて使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用すると感電、火災の原因になります。



禁 止

- 本体を分解・改造しないでください。
 - ・ 改造すると感電、火災、故障の原因になります。
- 定格電圧（AC 100V）・定格周波数（50Hzまたは60Hz）以外の電源で使用しないでください。
 - ・ 定格外の電源で使用すると感電、火災、故障の原因になります。
- ぬれた手で本体を操作しないでください。
 - ・ 感電の原因になります。

◆ 使用上のご注意

ご使用中本体に次のような異常がありましたら、コンセントから電源プラグを抜き、お買い求めの販売店へご連絡ください。



注意

- 使用状態で出力調節つまみを最大（右いっぱい）にしても、刺激が極端に弱い場合
 - ・水質と本体の機種が適合していないか、本体故障のおそれがあり、そのまま使用すると感電、火災の原因になります。
- 煙が出たり、異音・異臭がする場合
 - ・そのまま使用すると感電、火災の原因になります。

◆ 入浴時の注意

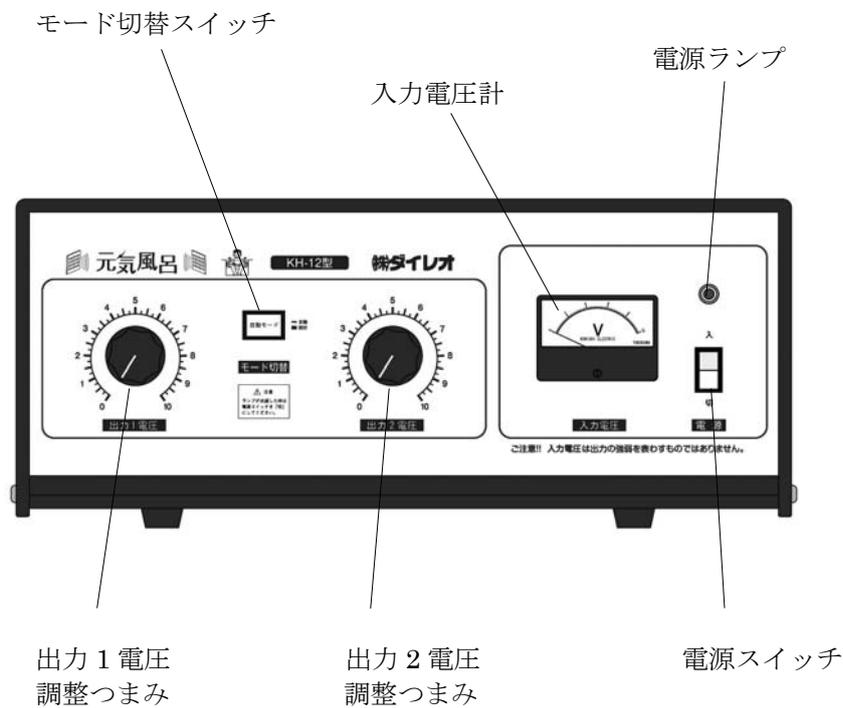
- ・身体や肌に異常を感じたら、直ちに入浴を中止してください。
- ・強い刺激での入浴や、長時間の入浴、または酒気をおびての入浴は、しないでください。
- ・磁気製品・金属製品(ネックレス、腕時計など)を身につけたまま、入浴しないでください。
- ・ペースメーカー等の体内植込型医用電子機器を使用されている人は、絶対入浴しないでください。
- ・次の事項に該当される人の入浴は、医師との相談が必要です。注意書看板（次項と同内容）を浴室の入浴者が見える所に掲示し、安易に入浴されないよう注意を促してください。



注意

- 心臓、脳神経に疾患のある人
- 血圧に異常のある人
- 血管に障害のある人
- 悪性腫瘍のある人
- 急性疾患のある人
- 胸腺リンパ体質の人および幼児
- 感染症疾患のある人
- 安静を必要とする人
- 妊娠している人
- 内臓疾患のある人
- 糖尿病の人
- 皮膚知覚障害または皮膚に異常のある人
- 医師の治療を受けている人や、薬を服用している人
- その他身体に異常を感じている人

◆ 電源装置パネル面の説明



名 称	機 能
電 源 ス イ ッ チ	電源装置の電源を 入/切 させます。
電 源 ラ ン プ	電源スイッチに連動して点灯します。
入 力 電 圧 計	装置の電源電圧を表示します。
モード切替スイッチ	固定モード / 自動モードを切替えます。 LED点灯時は自動モードになります。
出力1電圧調節つまみ	出力1の強さ(電圧)を調節します。
出力2電圧調節つまみ	出力2の強さ(電圧)を調節します。

◆ 操作方法

- ① 出力調節つまみ（１）・（２）両方のレベルが０（左いっぱい）になっていることを確認してください。
- ② 電源スイッチを「入」にします。
●電源ランプが点灯します。
- ③ 出力調節つまみをゆっくり右（時計回り）にまわします。
- ④ 出力の調節は、出力調節つまみを右にまわすと強くなり、左にまわすと弱くなりますので、入浴して不快に感じない程度に強さを調節してください。
●出力が強すぎると、事故や体調不良の原因になることがあります。
- ⑤ ご使用後は電源スイッチを必ず「切」にしてください。

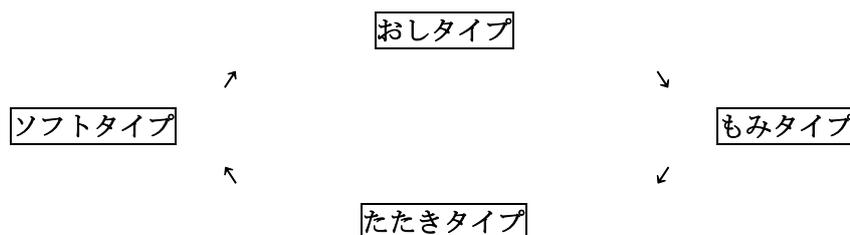
●運転モードはモード切替スイッチにより、固定モード／自動モードの２種類から選択可能です。

《固定モード》

- ・ソフトタイプ（連続的で安定した感じの刺激）のリズムを連続運転します。

《自動モード》自動で４種類のリズムを切替えます。

- ・電源スイッチを「入」にするとソフトタイプのリズムからスタートし、約４０秒ごとにおしタイプ、もみタイプ、たたきタイプと矢印の順番で４種類のリズムを繰り返します。



《出力調節（強さ）の目安》

出力の強さは、電極板の設置距離・浴槽の大きさ・水質・水温や、入浴者の感じ方などによって異なりますが、出力調節つまみのレベルが４～５を示す所を目安とし、最大でも７～８程度で 사용되는ことをおすすめいたします。

※ モード切替スイッチのランプが点滅した時は？

機器が異常（異常電圧や過負荷等）を検知すると電気の出力をカットし、同時にモード切替スイッチのランプを点滅させて異常の発生を知らせます。
この場合、電源スイッチを「切」にして異常の発生原因を解決した後、再度電源スイッチを「入」にしてください。

◆ 点 検

長期間ご使用になりますと使用条件などにより部品がいたみ、機能を十分発揮できなくなることがあります。故障を未然にふせぐため本体は3年に1回程度、電極板は1年に1回程度お買い上げの販売店に点検依頼されることをおすすめします。

〈 本体の点検箇所 〉

- スイッチの接触性
- 出力調節器の操作性
- 電源電圧計の動作性 など

〈 電極板の点検箇所 〉

- リード線の接続部分 など

◆ お手 入 れ

〈 本体 〉

柔らかい布に水または石けん水を少量含ませて軽くふいてください。

〈 電極板 〉

本体と同様、柔らかい布やスポンジに水または石けん水を含ませて汚れを落としてください。

※ シンナーやベンジンでふいたり、殺虫剤をかけないでください。

※ 金属製のたわしなどは使用しないでください。

◆ 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に下記の事項をお読みください。

現 象	考えられる理由
電源スイッチを「入」にしたとき、数秒間は本体が動作しない。	遅延装置（安全装置）の働きによるものです。遅延装置とは電源スイッチ「入」後約3秒間は本体を動作させず、その後0から出力調節つまみの設定値まで徐々に電圧を上昇させる装置です。
電源スイッチが「入」で電源ランプが点灯しているが電気が弱い、または電気を感じない。	出力調節つまみが調節できていない場合があります。出力調節つまみをゆっくり時計回りにまわして、適度な強さに調節してください。

2章 施工説明

電気工事業者様へ

この製品を正しく施工していただくため、施工前に必ずこの施工説明書をよくお読みの上、記載の取り付け方法で正しい工事を行ってください。施工後、この説明書をお客様にお渡しください。

施工前に必ずお読みください

警 告



必ず行う

- 浴室には付属の注意書看板（または同内容の物）を、入浴者が見える所に取り付けてください。
 - ・元気風呂入浴に関する注意事項が記載されています。
- アース工事（D種接地工事：接地抵抗100Ω以下）をおこなってください。
 - ・アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
 - ・アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因となり、本体の安全装置の不作動及び故障の原因にもなります。



禁 止

- 本体を分解・改造しないでください。
 - ・分解・改造すると感電、火災、故障の原因になります。
- 定格電圧・周波数以外の電源で使用しないでください。
 - ・定格外の電源で使用すると感電、火災、故障の原因になります。

注 意



必ず行う

- 元気風呂の施工には電気工事士の資格が必要です。
 - ・施工は必ず電気工事店にご依頼ください。
- 本体～電極板間は、元気風呂専用として配管・配線してください。
 - ・他の電線と配管・配線を共用すると、元気風呂浴槽に他の電気が流れ込む恐れがあります。

 注 意



必ず行う

- 電源は元気風呂専用回路として漏電遮断器を取付け、コンセントから電源プラグを通してください。
 - ・電源プラグを加工したり、電源コードを直接電線に接続したり、しないでください。
- 電極板を取付ける際は、付属のネジを使用し、取付け穴の個数分 取付けてください。
 - ・鉄製ネジなどを使用すると錆びて美観をそこねるだけでなく、故障の原因にもなります。
 - ・取付けネジが標準個数以下の場合、割れ・ひずみの原因になります。

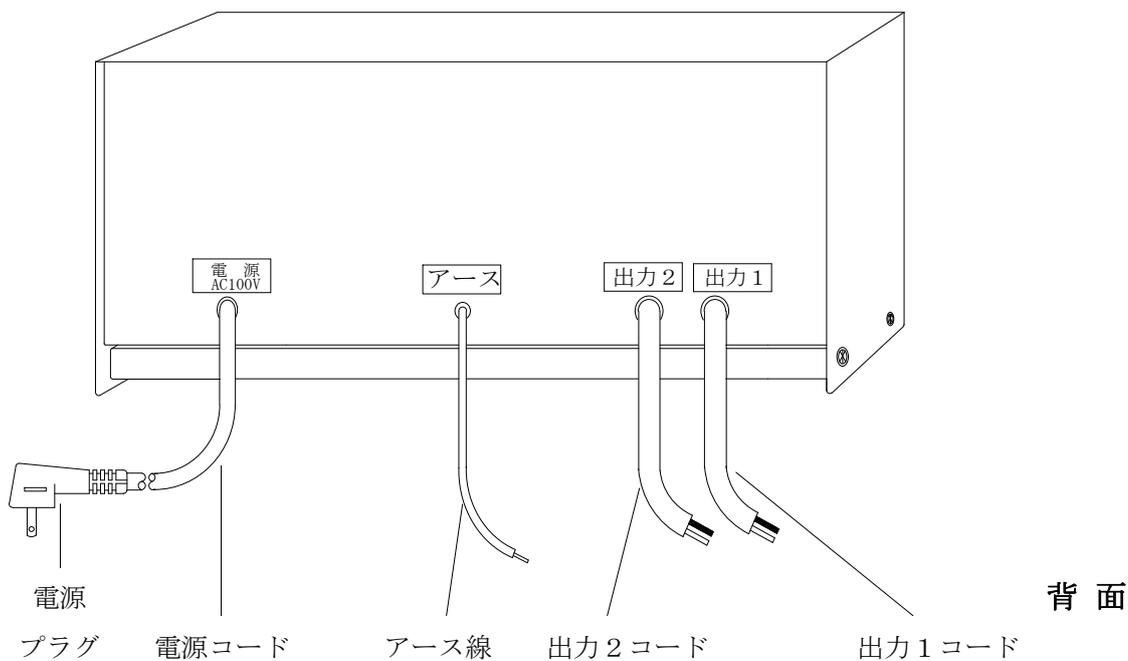
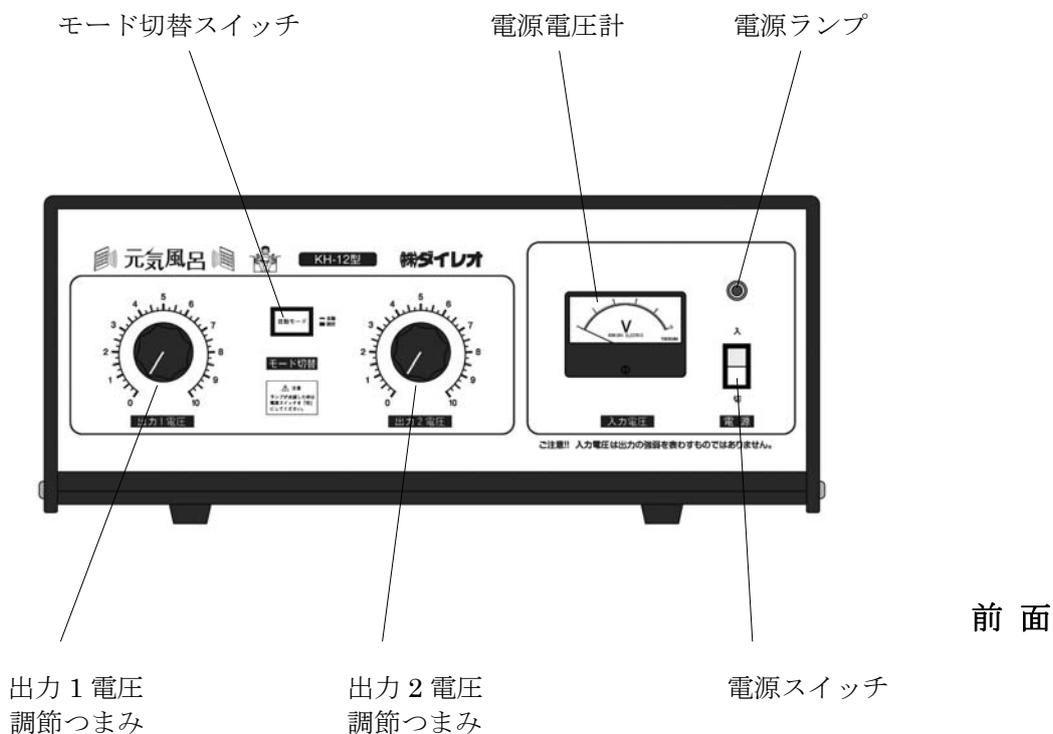


禁 止

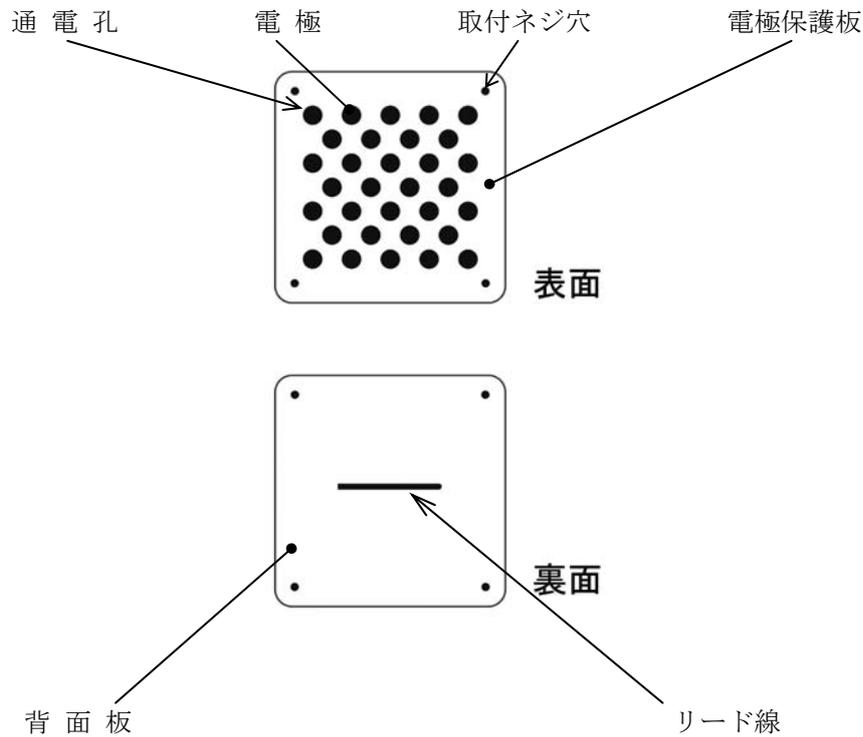
-
- 可燃性ガスの発生する所・たまる所、塵・ほこりの多い所、温度・湿度の高い所または、屋外等の場所に、本体を設置しないでください。
 - ・上記のような場所に本体を設置すると感電、火災、事故、故障の原因になります。
 - 振動・衝撃の発生する所等、不安定な場所に本体を設置しないでください。
 - ・不安定な場所に本体を設置すると、本体が落下するおそれがあり、感電、火災、故障の原因になります。
 - 屋外の配管・配線は行わないでください。
 - ・屋外に配管・配線した場合、落雷すると危険です。
 - 電極板の外周をセメントなどで固定しないでください。
 - ・割れ、ひずみの原因になります
 - 電極板の付近に金属製品（手すり等）を施設しないでください。
 - ・通電に支障をきたす可能性があります。

◆ 各部の名称

1. 電源装置 (本体)



2. 電極板



3. 注意書看板

元氣風呂

全身爽快

気分スッキリ・湯上がりサッパリ

心地よい刺激が体をリフレッシュし、心身ともにリラックス！

次の事項に該当される人は、事故や体調不良を起こすおそれがありますので、元氣風呂に入浴されないようご注意ください。

<ul style="list-style-type: none"> ●ペースメーカー等の体内植込型医用電子機器を使用されている人 ●心臓病の人 ●腎臓病の人 ●高血圧症の人 	<ul style="list-style-type: none"> ●動脈硬化症の人 ●神経過敏症の人 ●てんかんの疾病を有する人 ●胸腺リンパ体質の人 	<ul style="list-style-type: none"> ●皮膚に外傷又はかきようのある人 ●妊娠している人 ●幼児 ●酒気をおびている人
---	---	---

※その他医師から入浴を禁じられている人や、身体に異常を感じている人

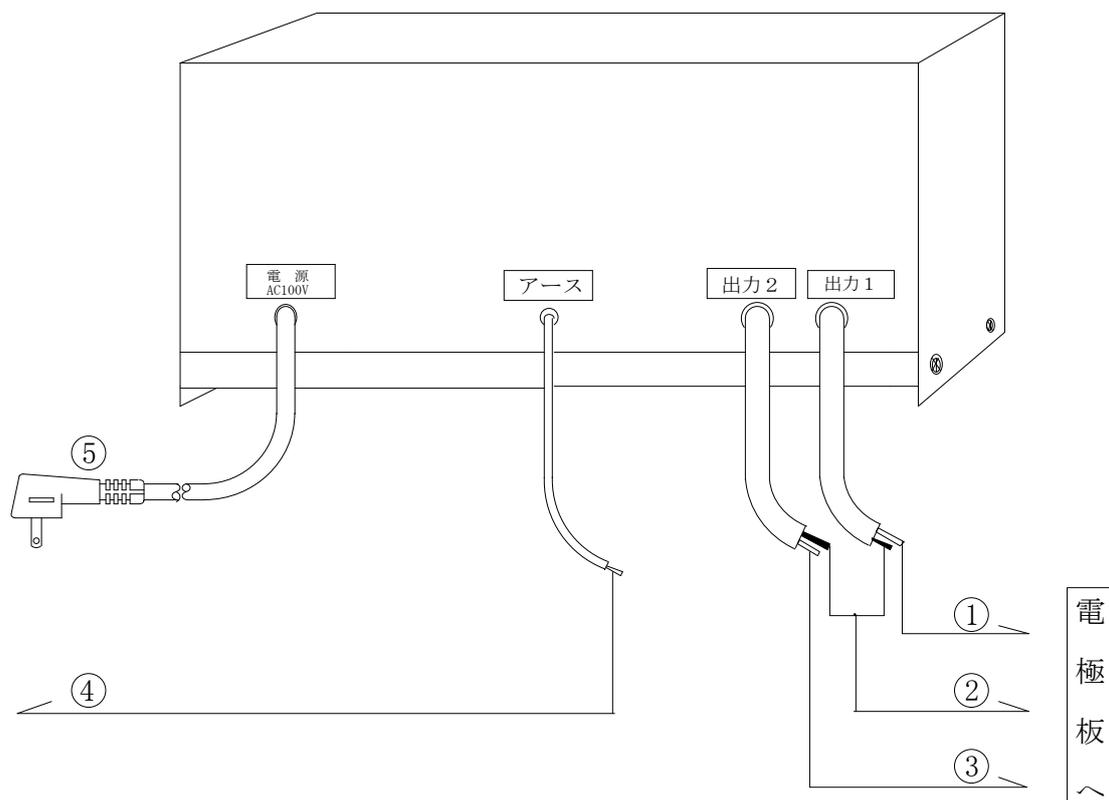
★磁気・金属製品(貴金属・腕時計)等を身につけたまま入浴しないで下さい。
★長時間の入浴はさけて下さい。

Daileo 超微電圧入浴マッサージ器

◆ 電源装置（本体）の接続

本体の接続方法は、3線引き（黒線1本・白線2本）と4線引き（黒線2本・白線2本）の2種類があります。現場にあわせて施工してください。

（1）3線引きの方法

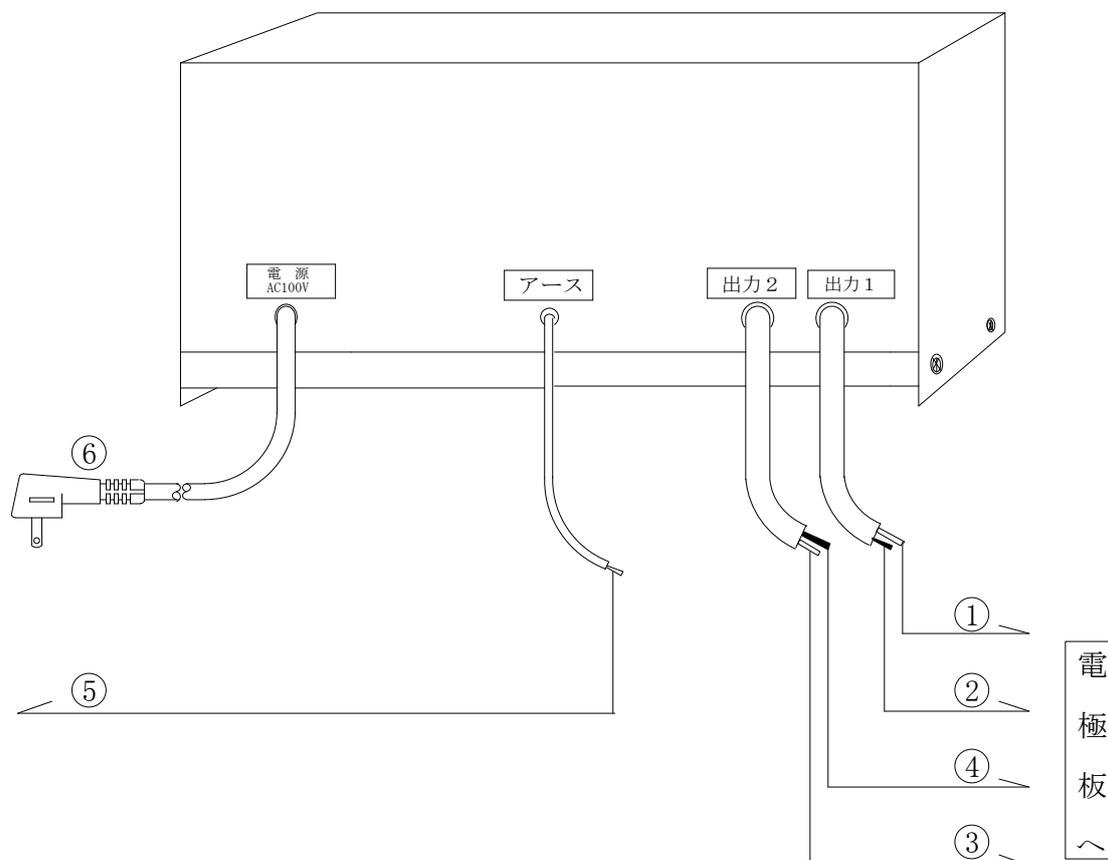


◀ 接続手順 ▶ 注) 配線方法 (P 16～19) をご参照ください

- ① 出力1コードの白線を電極板（出力1・白線）へ接続する。
- ② 出力1・2コードの黒線を接続して、接続ボックスで電極板（出力1・黒線）と電極板（出力2・黒線）へ分配して接続する。
- ③ 出力2コードの白線を電極板（出力2・白線）へ接続する。
- ④ アース線を接続する。（D種接地工事：接地抵抗100Ω以下）
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差込む。

※ 本体を乾燥した所に設置する場合でも、必ずアース工事をおこなってください。

(2) 4線引きの方法



《 接続手順 》 注) 配線方法 (P 16 ~ 19) をご参照ください

- ① 出力1コードの白線を電極板 (出力1・白線) へ接続する。
- ② 出力1コードの黒線を電極板 (出力1・黒線) へ接続する。
- ③ 出力2コードの白線を電極板 (出力2・白線) へ接続する。
- ④ 出力2コードの黒線を電極板 (出力2・黒線) へ接続する。
- ⑤ アース線を接続する。(D種接地工事: 接地抵抗100Ω以下)
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差込む。

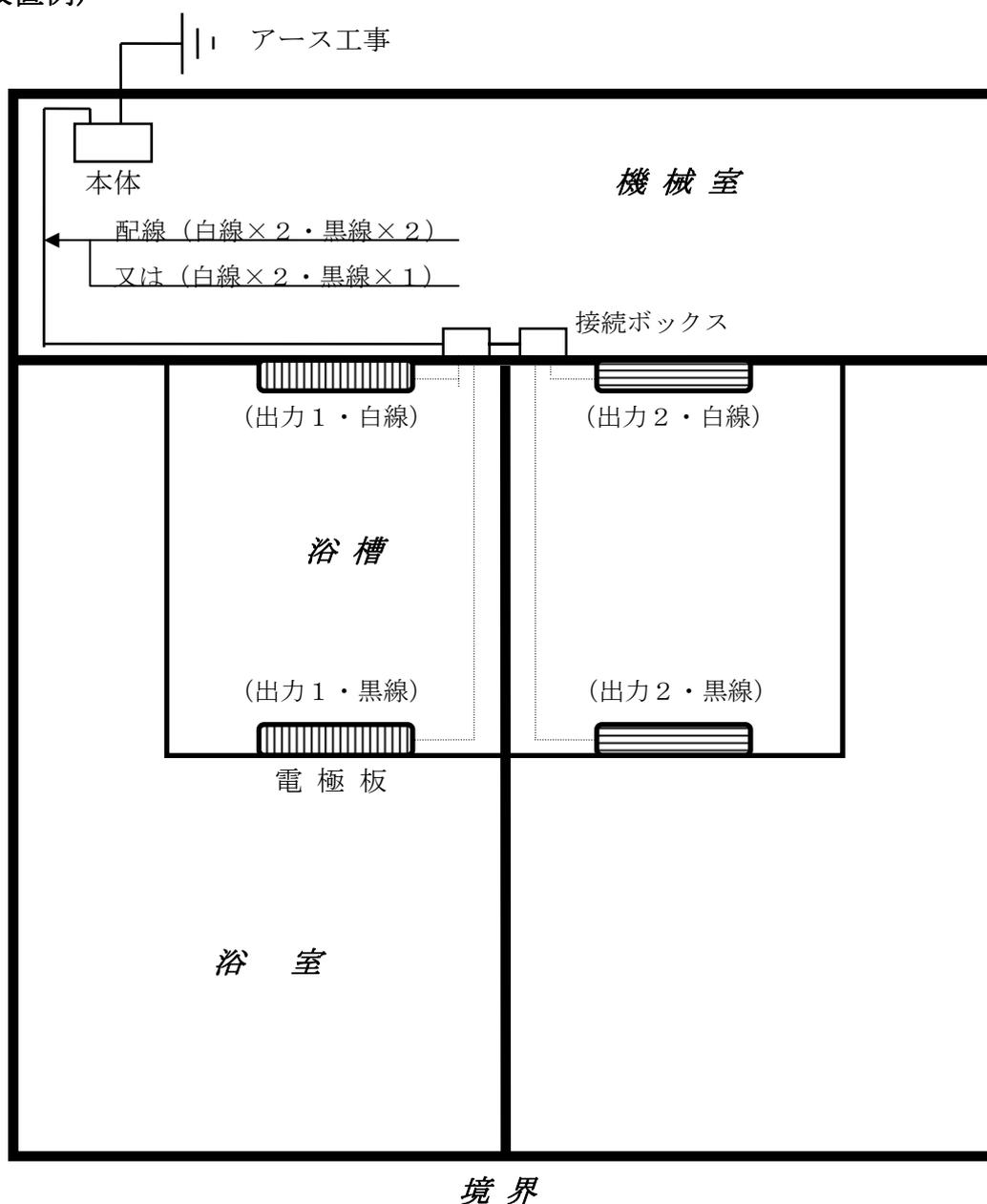
※ 本体を乾燥した所に設置する場合でも、必ずアース工事をおこなってください。

◆ 配線方法

(1) 対向型配線方法

- 電極板と電極板を向い合わせで取付ける場合は、下図のように電極板を配置してください。
- 浴室内は、φ 1.6 mm以上の電線を使用して、配管・配線工事を施してください。
- 電極板の電気接続部分は確実に接続し、融着テープを巻き、その上に粘着テープを巻いて仕上げてください。（接続部分の防水処理）

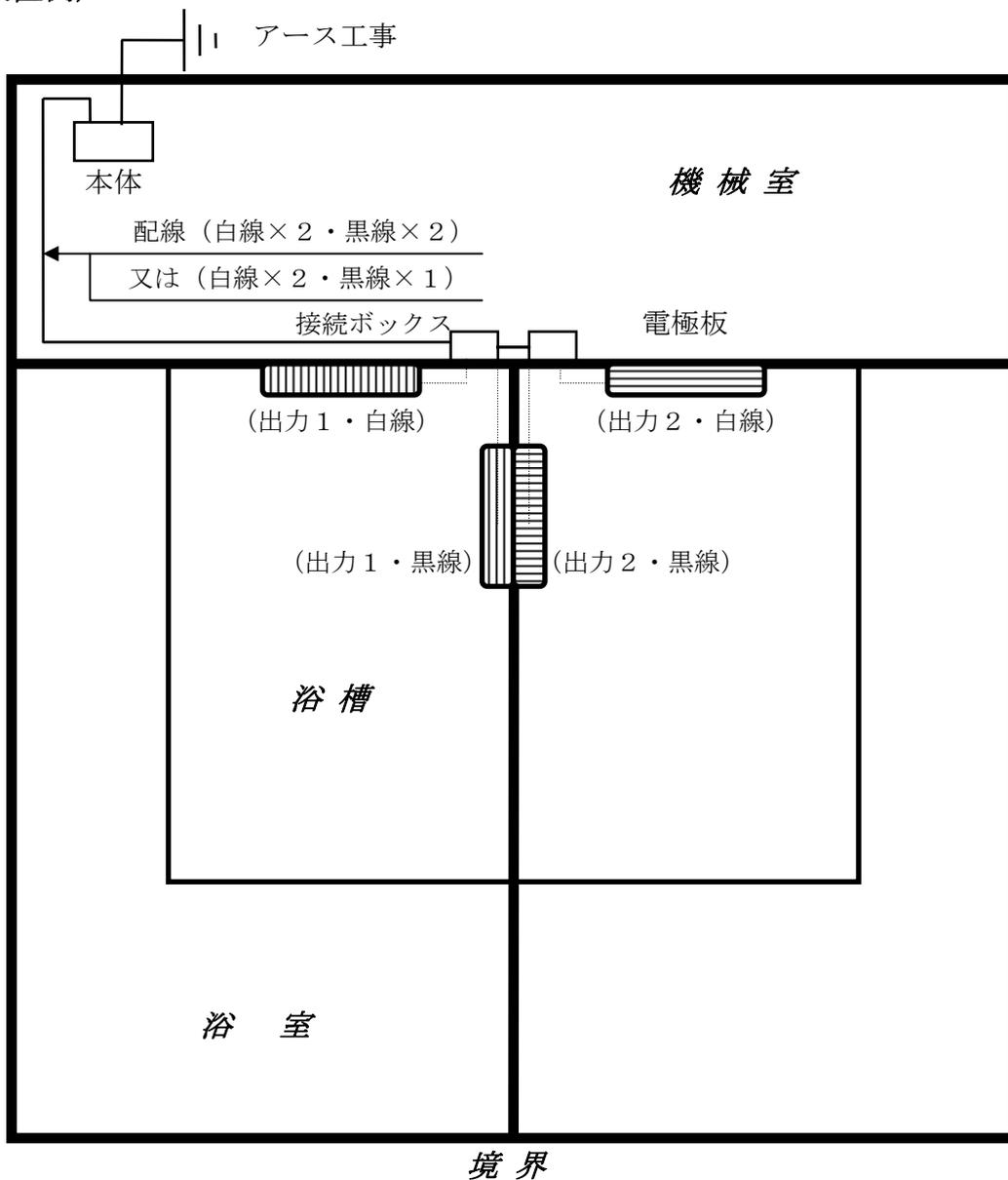
(設置例)



(2) L型配線方法

- 電極板を浴槽の角に取付ける場合は、下図のように施工してください。
- 浴室内はφ1.6mm以上の電線を使用して、配管・配線工事を施してください。
- 電極板の電気接続部分は確実に接続し、融着テープを巻き、その上に粘着テープを巻いて仕上げてください。(接続部分の防水処理)

(設置例)



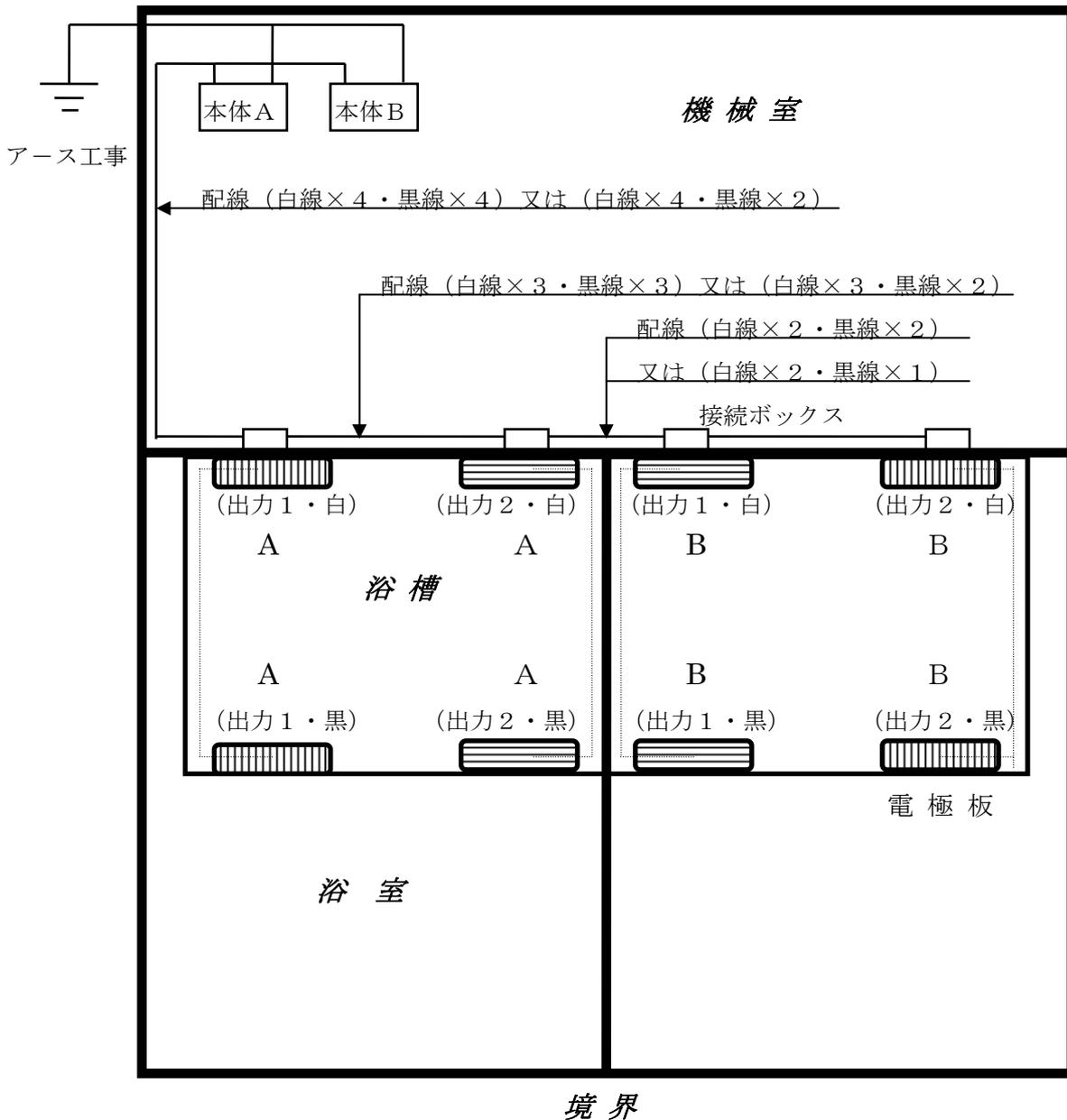
(3) 同じ浴槽で本体を2台使用する場合

a. 同じ機種の本体を2台設置する場合

(ソフトタイプ2台または、マルチタイプ2台使用)

- 同じ機種の本体を2台使用される場合は、下図のように電極板を配置してください。
(下記設置例は、対向型配線方法)

(設置例)



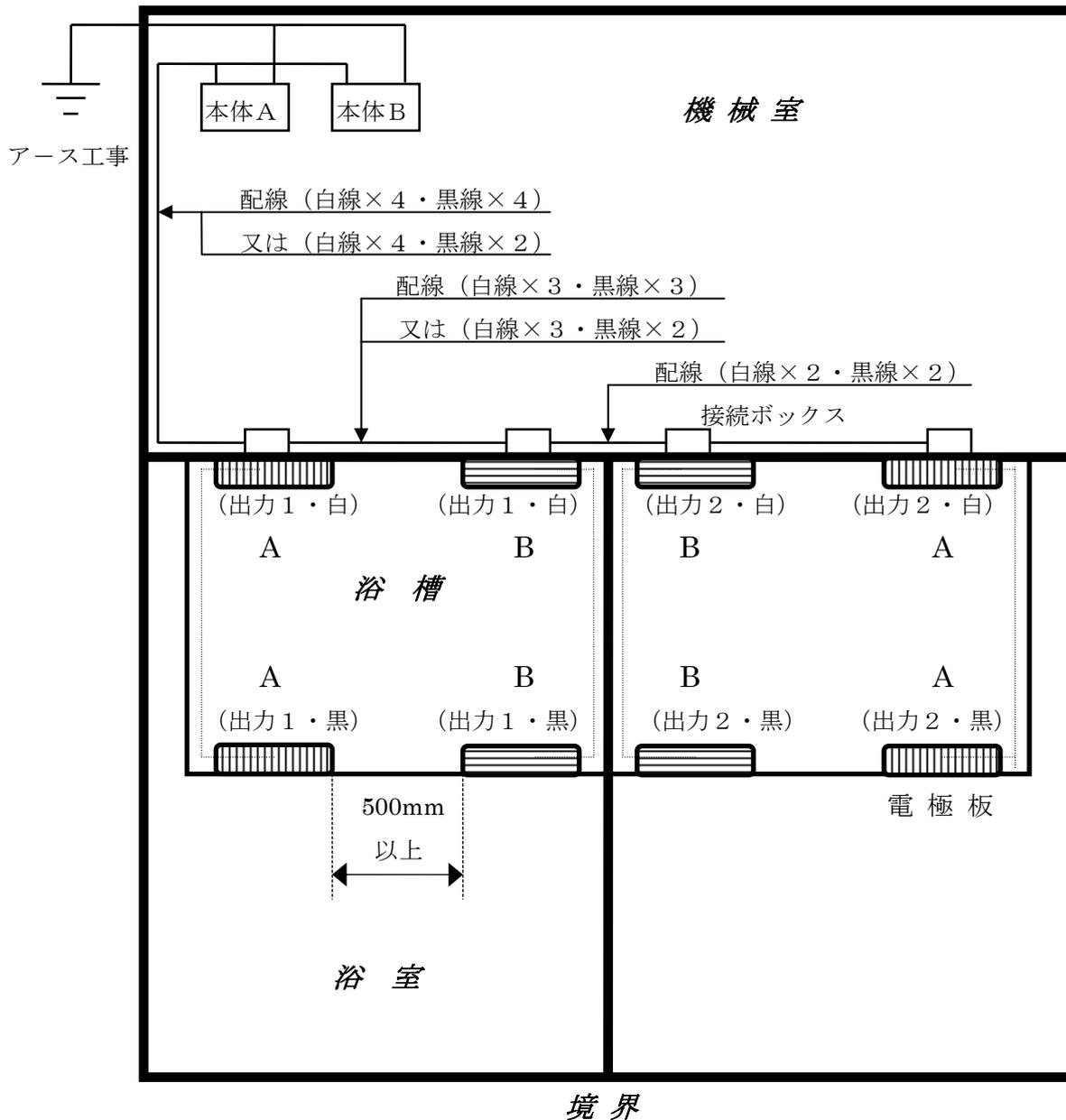
b. 機種の違い本体を2台設置する場合

(ソフトタイプとマルチタイプを使用等)

- 機種の違い本体を2台使用される場合は、下図のように電極板を配置してください。
- 他機種本体の電極板との距離は、500mm 以上離してください。

[他機種本体の電極板との距離が近すぎると、互いに干渉して電気が弱くなる場合があります]
(下記設置例は、対向型配線方法)

(設置例)



◆ 電極板の取付け

(1) 取付方法

- ① 電極板を壁にあて、取付穴（1枚8ヶ所）の目印をつける。
- ② 径6.5mm、深さ25mmの穴をあける。
- ③ アンカープラグを打ち込む。
- ④ 電極板リード線と本体二次側出力線を接続する。
- ⑤ 電極板をネジ（32mm）で締め付ける。

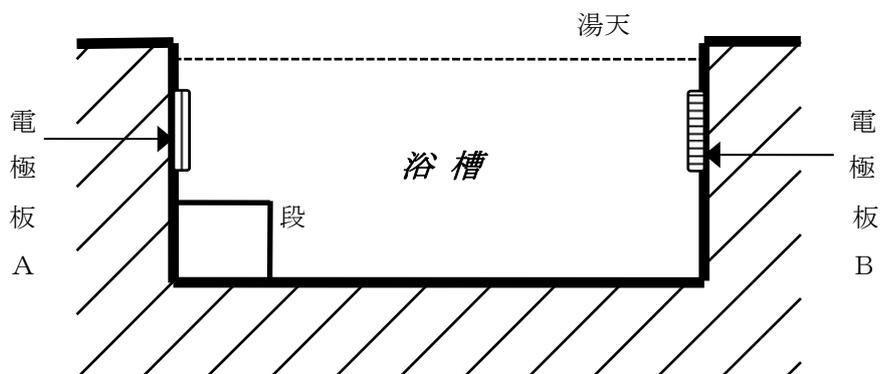
《ご注意》

- ・厚さ50mm以上のタイル及びコンクリート等の壁に取付けてください。
- ・平らな壁面に取付け、湾曲した壁面には取付けないでください。
- ・折り曲げたり、切断したりしないでください。

(2) 取付位置（高さ）について

電極板の取付位置は浴槽の形状（広さや深さなど）によって異なりますが、通常は一方が肩の位置、もう一方が腰の位置になるように、a・bを参考に浴槽にあわせて取付けてください。

a. 段のある浴槽



- 電極板A・B両方とも、湯天より100~200mmの位置に取付ける。

b. 段のない浴槽



- 電極板Aは、浴槽底面より 300～400mm の位置に取付ける。
- 電極板Bは、湯天より 100～200mm の位置に取付ける。

★ 数値は参考例です。

◆ 注意書看板の取付け

- ① 注意書看板を壁にあて、取付穴（1枚4ヶ所）の目印をつける。
- ② 径6.5mm、深さ25mmの穴をあける。
- ③ アンカープラグを打ち込む。
- ④ 注意書看板をネジ（16mm）で締め付ける。

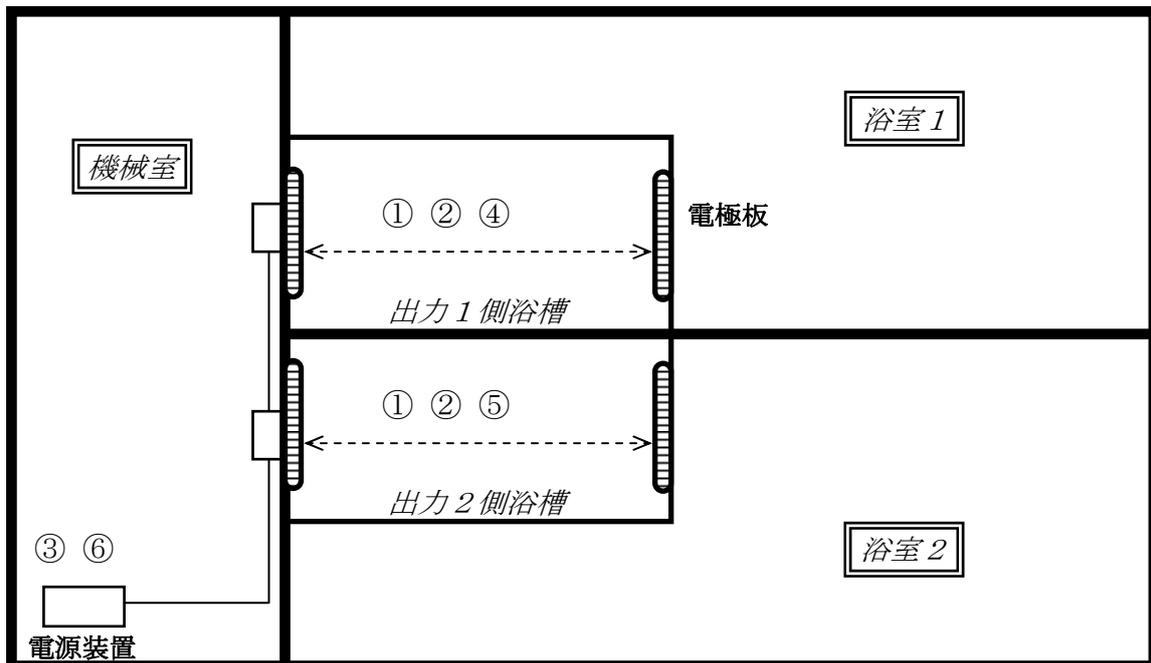
《ご注意》

- ・裏面（白い面）に印刷部分がありますので、裏面を傷つけないようお取扱ってください。
- ・薄く割れやすいので、取付けは十分注意して行ってください。
- ・壁に穴をあけられない場合（ガラス壁等）は、強力な両面テープ等を使用して取付けてください。

◆ 完了検査について

施工完了後、次のような手順で完了検査を行ってください。

- ①電源装置の電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電極板で、出力1及び出力2の電源装置～電極板間の導通検査をする。
- ②浴槽が乾燥状態にて、電源装置～電極板間の絶縁抵抗を測定する。
- ③電源装置のモード切替を“固定モード”にする。
- ④電源装置の電源スイッチを「入」にして出力調節器2を最小（左いっぱい）にし、出力調節器1を最大（右いっぱい）にして出力1側の電極板で出力電圧を測定する。
〔出力電圧は、真の実効値が測定できる測定器をご使用ください。〕
- ⑤出力調節器1を最小（左いっぱい）にし、出力調節器2を最大（右いっぱい）にして、出力2側の電極板で出力電圧を測定する。
- ⑥電源装置の電源スイッチを「切」にする。



◆電源装置

型 式	KH-12E	KH-12S	KH-12SP
機 種	水道水用	温泉用	高濃度温泉用
使用水質	水道水	温泉水	
適合法	電気用品安全法		
使用環境	周囲温度0～50℃、湿度80%以下（結露なきこと）		
出力チャンネル数	2チャンネル（各調節可）		
電源電圧	AC 100V（±10%）		
電源周波数	50 / 60 Hz		
消費電力（無負荷時）	約9W	約10W	
出力電圧（無負荷時）	AC 0～10V（±10%）		
電源リレー動作値	AC 115V以上		
電流ヒューズ	1 A		
定格使用時間	連 続		
電源コード	2×0.75 mm ² （約1.6m）		
出力コード	2×1.25 mm ² （約1.0m）		
アース線	1×2.0 mm ² （約1.0m）		
外形寸法	約459(W)×166(H)×253(D)mm		
重 量	約9.7Kg	約9.8Kg	

◆標準付属品

電 極 板	寸法	約500(L)×200(W)×10(T)mm		
	重量	約0.8Kg	数量	4枚
	取付ネジ	ステンレス	3.8×32mm	[32本]
注 意 書 看 板	寸法	約420(L)×300(W)×2(T)mm		
	重量	約0.3Kg	数量	2枚
	取付ネジ	ステンレス	3.8×16mm	[8本]
アンカープラグ	7.0×25mm	[40本]		
取扱説明書	1部			

■保証規定

- 取扱説明書や本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合は無償にて修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - 取扱上の不注意や誤った使用による故障および損傷
 - 不当な改造や修理、誤った施工による故障および損傷
 - 火災、水害、地震、落雷等、天災地変による故障および損傷
 - 指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷
 - アース線未接続（接地工事未施工）に起因する故障および損傷
- 保証対象は電源装置（本体）のみで、電極板は保証対象外です。